

かがやき

輝

第23号

発行 平成24年7月27日

茨城県立図書館

ボランティア協議会広報委員会

文責 上原 富男

— 目次 —

- 1 ごあいさつ
- 2 よろしく申し上げます
- 3 録音図書製作ボランティアの活動
- 4 いばらき読書フェスティバル 2011 講演会
- 5 細腕繁盛記？
- 6 がんばっぺ！！三の丸書庫
- 7 ボランティア協議会から

1 ごあいさつ

ボランティア協議会々長 高根沢 洋子



定年退職の時、これからはボランティア活動をしていきたい、と希望を持って活動を始めてから早、6年の歳月が流れました。

小学生の時、放送委員として昼休みに教科書の随筆を朗読したのを校長先生に褒められてから本を読むことが好きになりました。それ以来、朗読の講習会にでたり、NHKの通信教育を受けたりしました。そんなことから、県立図書館のホームページで代読サービスのボランティアを募集しているのをみて登録し、現在、対面朗読と、録音図書製作の分野に所属しております。

今回、思いがけなく、協議会の会長というお役目を頂き、目が回るような思いです。所属する分野での勉強もまだまだこれから険しい道を登っていかねばなりません。図書館ボランティアとして利

用者の皆さまのご希望に添えるよう、力をつけていけるよう、メンバーの皆さまと頑張りたいと思う毎日です。

県立図書館が、県民の皆さまの要望に応えられる図書館活動を展開できますよう、他の分野の方々と協力し、一步一步、休まず、あきらめず歩いて参りたいと思っております。

毎日の活動、見学会、研修会、そのほかさまざまなことで皆さまのご意見、ご希望をうかがいながら、ボランティア協議会の運営に努めて参りたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2 よろしくお願ひします

副館長 津久井 稔



この4月に赴任いたしました、副館長の津久井です。どうぞよろしくお願ひいたします。

ボランティアの皆様には、平成13年度に現在の館が

開館して以来、変わらぬ熱意で活動いただき、心からお礼申し上げます。

さて、私は昭和58年度に県に採用されてから3年間、図書館の館外奉仕課(現在の普及課)と館内奉仕課(現在の館内サービス課)に所属しました。その後、平成6年度に図書館に戻ってから平成19年度まで資料課、情報資料課、館内サービス課に所属となり2度目の図書館勤務をいたしました。したがいまして、今回が3度目の図書館勤務となります。

4年ぶりに図書館に戻りまして3ヶ月、図書館勤務経験者とはいえ、慣れな

い業務に少々戸惑いながら勤務しつつ、若干の閉塞感を感じております。毎年の県予算圧縮により、資料費削減もやむなしという状況になっており、電力供給不足により空調も思うように動かせません。これらを反映してか利用者数もピーク時の半分程度に減っています。しかし、このような中、緑のエプロンを着けて一生懸命に努力されている方々を見まして、「私たち職員が元気を出さずにどうするか。」と思いました。基より微力な私に何ができるかは解りませんが、現在の館の開館時に、発足したばかりのボランティアの皆さんや職員と力を合わせながら、「明るく便利な開かれた図書館」というスローガンの下に手探りで業務を行った日々に思いを馳せ、現在のスタッフと力を合わせて、図書館サービスの向上に努めたいと思います。

よろしくご協力賜りたく、お願ひ申し上げます。

3 録音図書製作ボランティアの活動

代読サービスボランティアは、H24年度から、活動の形態が異なるため、対面朗読と録音図書製作に分かれて活動することになりました。録音図書製作について寄稿いただきました。



録音図書製作ボランティアの活動は、活字での読書が困難な方のために、図書館蔵書としての録音図書を作製することです。

録音図書作製の流れは、図書選定→漢字読みなどの調査→音訳→校正→音訳

訂正→編集→CD-ROM書き込みなどの作業後、図書館蔵書として完成となります。

公共図書館での録音図書作製は、一部条件を除き著作権がフリーとなりましたが、原本に忠実に音訳することが基本です。

誤字は誤字のまま、地名-固有名詞は正確な読み方で、表紙やイラスト・グラフなどは文章化し、奥付と巻末広告も録音します。

一冊の音訳は、担当者が図書館内録音室又は自宅で録音の個人作業です。校正、編集もそれぞれの担当者が行います。

この様に録音図書作製は、多くの日数と根気のいる活動です。

私たちボランティアは、一日でも早く図書を完成させたいと思いますが、思うように捗りません。音訳も、一度聞けば解る音訳、利用者の方が自分で読んでいる様に聞こえる音訳など難しいことが多く、いつも「今回はこれでごめんなさい。次回は、もう少し良い図書を作製できる様に頑張ります」の気持ちで活動しています。

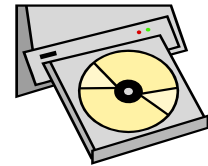


私たちの活動の中心は個人作業ですが、月に一回定例会を行い、担当図書の打ち合わせや朗読の勉強会などを行っています。また全国音訳ボランティアネットワークに加入し、情報交換や総会、分科会、研修会などに参加しています。

図書館行事への協力として「名作を楽しむ会」で作品朗読、「読書フェスティバル」で司会をしています。

H24年度「名作を楽しむ会」での朗読は8/4(土)・11/3(土)・3/10(日)です。音訳表現での作品朗読もお聞きいただければと思います。

〔録音図書製作 立川みつよ〕



4 いばらき読書フェスティバル 2011 講演会

～ 講演者：(株)ポプラ社代表取締役社長 坂井 宏先氏 ～

「我々の孫の時代をどの様な時代になるだろうか。孫の生きる世代をどのように形成していけるか」との問いかけが重ねられた。

2千年の独自の文化を持つ我が国は応仁の乱、明治維新、太平洋戦争敗北そして過日の東日本震災と激変を経てきた。現在、児童文学は編集者にとっても難しい局面にある。本気になって編集者が作家をいかに信頼させて自信を持って書かせるか、編集者と作家との精神的結びつきがより大切な時代にある。孫の世代の日本をどうするか、どういう日本を創っていくかというアクションを起こすときである。子供の本は子供が一人で読んで楽しめることが大切で難しいもの

だ。NHKのお笑い3人組からのヒントで名づけたズッコケ3人組は大人の世界では当初評価の対象になく、子供たちによる評価を得て、年2回・26年の出版を続けることができた。これからも有史以来の日本独自の文化を維持しつつ、相互を尊敬する本当の人間関係を育成出来る児童図書を出版していく所存である。

最近、話題になり普及が著しい電子書籍については、IT産業が利益を得るばかりの、極めて遺憾な状況と評価している。

教育の原点は、江戸時代の寺小屋教育にある。

これからデジタル教育が普及したと

したら、口をきかない、共に語ることが出来ない、自分だけの世界を意識する人間が多くなってしまいうだろう。こうなってはならない。最新の百科辞典を児童数に応じて配備し、教育マニュアルに対応して必要な教育を継続しなければならないが、現況は極めてお粗末な小学校の有様である。現在の無力な指導力不足の政治・官僚時代において、我々の孫の時



5 細腕繁盛記？

＝ 「子ども読書フェスティバル」ドリンクショップ ＝



「子ども読書フェスティバル」が開催された県立図書館玄関前は、フェスティバルでは例年顔なじみ名マスターKさんが仕切る「ワンコインカフェ」ではなく、美人ママの「ドリンクショップ」がオープンしました。大震災後、水戸市の臨時庁舎が旧県立図書館跡に設置されたこともあり、三の丸広場には蕎麦屋さんが1店のみ出店となりました。寂しい感じのフェスティバルにならぬようにしたいとのことで、細腕の協議会々長自らが陣頭指揮でドリンクショップを運営しました。

ショップの店員は全員が女性、みんな元気に接客しており「普段の図書館ボランティアとは一味違った特性？」を發揮

代はどうなっているだろうか、どうやって創るかが永遠の課題といえるだろう。締めくくりの言葉である。

講師の脱線話も多々あり面白く勉強になった講演会であった。

〔広報 上條 哲〕

(注) ポプラ社:児童書主体の書籍・雑誌などの出版業



していると感じました。ワンコインカフェを懐かしがるお客さんもいましたが、シンプルなドリンクショップでもそれなりの売上？があったとも聞いています。継続して出店していくことも大切なことであると思いました。

おはなし会、本のお医者さん、館内探検ツアー、古本マーケット、子ども落語体験など、恒例の行事に参加していただいた会員の力により、2年ぶりに復活した「子ども読書フェスティバル」は3千人を超える来場者があり、成功裏に修了しました。本当に有難うございました。次回も積極的なご協力を宜しく願います。

〔広報 上原 富男〕



6 がんばっぺ！！ 三の丸書庫

1. 東日本大地震の被災状況

(1) 東西2階建ての三の丸書庫では、書架からの図書の落下と散乱が多く見られ、職員2名で一週間程かけて元に戻した。

(2) 駐車場に数ヶ所の大きな亀裂が入り、駐車場の下に埋設してある水道管が破裂し、復旧まで相当な期間を要した。

(3) 建物内の柱や壁面の損傷などは無かった。

2. 活動の体制と現況

(1) 16人体制で月平均3日、活動時間は9時30分～正午まで。(但し、自由参加とし、活動日は予め普及課が決定し、各自に通知される。)

(2) 現在の作業

① 震災後、9月に再開するまでに書架と図書の上にたまった埃の除去。

② 通常業務の、図書の団体貸出し後、返却された図書を整理し書架への保管。

③ 図書の装丁作業。

④ 東側2階の書架にある図書の保管状態の乱れを直し、正しい配列にする作業。(但し、古い本なので貸出さないものが多い。)

(3) 今後の作業計画予定

① 震災前から行ってきた一般図書の著者別配列作業を再開する。

② 一般図書・児童図書の「あいうえお」順などの区分カードを見直し更新する。

③ 児童図書を記号別・番号別に正しく配列し、保管し直す。

これらの諸作業を計画的に実施する。

3. まとめ

書庫内はコンクリートの床仕上げのために少々埃っぽく、マスクや軍手を使用し、冬はカイロなどが必需品である。

冷暖房設備としては、東西の書庫にそれぞれ、夏は扇風機、冬はストーブが1台あるだけ。本宅(県立図書館)と比べ別宅(看板や標識なども無い)は厳しい環境での活動である。それでも「がんばっぺ！！」を合言葉に、メンバーは和気あいあいと和やかに、しかし積極的に活動に取り組んでいる。

三の丸書庫にも足を運んで下さい。

三の丸書庫の活動に参加を！

協力頂けるメンバーをお待ち

しています！！

〔三の丸書庫 黒澤 英宣〕

(注) 三の丸書庫 場所/水戸日赤病院駐車場西側

※ 主に市町村図書館などの団体向け図書一括貸出し業務(個人貸出しはせず)

の



7 ボランティア協議会から

5月17日、水戸西ロータリクラブから協議会への支援金として10万円を寄贈いただきました。例年、同クラブから支援をいただいております。この浄財を有効に活用させていただくため、協議会にて活動補助金の配分について協議中です。

開催された協議会(開催日:3/18、4/14、6/16)にて、決定された主な項目について記します。ご理解とご協力をお願い致します。

1. 活動の分野分けの変更

分野分けをしてボランティア活動していますが、「代読サービス」は今年度からは、「対面朗読」と「録音図書製作」に分野分けをして活動することになりました。

また「環境美化」及び「イベント」分野については、実質的な活動をしていないことから、この分野を無くしました。

2. 協議会々計及び監事の選任

会計及び監事の選任については特に基準はありませんでした。今年度から「協議会副会長」の選任と同様、各委員会の正副委員長が輪番的に担当する方式となりました。協議会副会長を担当した委員会が次年度の会計を、会計を担当した委員会が次年度の監事をと、順次担当となります。したがって「協議会副会長」を担当する委員会は3年間それぞれの役員を担当することになります。

3. ボランティア登録の取消し

活動の実績が1年間無かった人は「登録の取消し」を館長ができる規約になっています。しかし、各種の事情から実施はされていませんでした。協議会側の総意として、館長に、より厳格な運用をして頂くように要請を行いました。

〔広報 土屋 純子〕

— ◇ — ◇ — 編集後記 — ◇ — ◇ —

こどもの日、館の恒例行事である「子ども読書フェスティバル」が開催された。昨年は東日本大震災の影響で開催が不可能となった。「予定のことが予定どおりにできる」ということが普通だったのに、あの震災によりできなくなった。普通にできたのが本当にありがたい。

今年の黄金週間は天気が味方しなかった。こどもの日は幸い好天に恵まれ春の一日を過ごせたが、明けて6日は、つくば地域に竜巻が発生し甚大な被害をもたらした。昨年の地震、そして今年は竜巻である。自然に恵まれ比較的安全で

生活がしやすいという郷土「茨城」にとってはダブルパンチとなってしまった。

一方、金冠日食や金星の太陽面通過などの天体ショーを予測時間どおりに体験できた。かつて、人類もあの日の朝の小鳥のように「ナンダコレハ？」と右往左往したと思われる。大地震の予知は極めて困難、竜巻発生も1%以下の確立とのものである。「英知は無限」を信じ、より精度が高い安全データが得られる時代が必ずおとずれれることを願うものである。

〔広報 上原 富男〕